



第8回 港inしらぬか花火大会

夜空に咲いた大輪の花
10000発

8月20日(土)、白糠漁港で「港inしらぬか花火大会」(実行委員会主催)が開催されました。

3年ぶりとなる今年も、過去最多となる約10000発が打ち上げられました。残念ながら新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初予定していたステージイベントや屋台村などの開催は中止となりましたが、会場には大勢の人が集まり、花火が打ち上げられると、大きな歓声が上がりました。

花火は3部構成で第1部が19時にスタート。音楽付きスターマインや仕掛け花火などが打ち上げられ、最後は黄金色の花火が白糠漁港を染めました。

第2部は、蝶々やイチゴなどの型物花火が打ち上げられ、最後は扇状に開く花火がさまざまな場所から打ち上げられました。第3部は、かわいいキャラク

ターの型物花火のほか、紅色・緑色・青色・紫色・黄色の花火が5カ所から打ち上げられ、白糠の夜空を色鮮やかに染めました。フィナーレでは「錦冠(しきかむろ)」と呼ばれる花火が夜空いっぱいに広がり、会場から歓声が上がると共に温かい拍手が送られました。

主催者あいさつ

打ち上げ開始前に主催者である実行委員会の高橋隆助会長は「今年は3年分の思いを込めて、花火を従来の5,500発から1万発に増やしました。夜空や海面を彩る白糠の花火を家族や友人と一緒に楽しんでいただきたい」とあいさつしました。

